

Brain Japan 2019 in Sendai 企画

第 62 回日本脳循環代謝学会では、以下の企画を準備しています。

盛会となるよう準備を進めていますので、是非仙台までお越し下さい！

●特別企画「研究縦横無尽」(11月29日)

今回の学会テーマである「研究縦横無尽」は、研究が持つ様々なポテンシャルについて明らかにしたい、という思いが込められています。学会テーマを主題とした本特別企画では、研究の様々な方向性やトランスレーショナルリサーチについて、様々な分野の研究に習熟した先生方にご自身の経験をご発表いただき、熱い議論を行います。

- ① 新妻邦泰 先生 (東北大学大学院医工学研究科神経外科先端治療開発学分野)
「血管内治療支援装置の開発」
- ② 七田 崇 先生 (東京都医学総合研究所 脳卒中ルネサンスプロジェクト)
「脳梗塞における炎症と神経修復の関連性について」
- ③ 下畑享良 先生 (岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野)
「創薬を目指したトランスレーショナル・リサーチ」
- ④ 森 悦朗 先生 (大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学寄附講座)
「様々な大型臨床研究の経験」

●Cutting edge lecture (11月29日)

1. Luo Lingfei 先生 (School of Life Sciences, Southwest University, Chongqing, China)
「脳血管の再生にリンパ系が関与する」という、最新のトピックを御講演いただきます。
2. 下田 浩先生 (弘前大学・生体構造医科学講座/神経解剖・細胞組織学講座)
ヒトのリンパ系の分子解剖学的特徴、さらには再生医療への血管・リンパ管網の導入について、最新の知見を御講演いただきます。

3. 松井 広先生（東北大学大学院生命科学研究科超回路脳機能分野）

「心とは何か」という壮大なテーマに「グリア細胞」を通してアプローチする研究について、御講演いただきます。

●特別シンポジウム：時間で追う脳虚血の病態と治療（11月29日，30日）

脳虚血の病態と治療についての最新の情報を，急性期・亜急性期・慢性期の時間毎に分けて特別シンポジウムでご発表いただきます。

●会員懇親会（11月29日）

会員懇親会では、「ひがしもの」と呼ばれるマグロの解体ショーを予定しています。塩釜港に水揚げされるメバチマグロのうち，認定される条件を満たしたものだけが「ひがしもの」と呼ばれます。会員懇親会に参加し，是非「ひがしもの」をご賞味ください。

●教育講演（11月30日）

- ・宮田敏先生（東北大学大学院医学系研究科循環器 EBM 開発学寄付講座）

研究に役立つ医学統計について，わかりやすく御講演いただきます。

- ・庄島正明先生（埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科）

- ・八木高伸先生（早稲田大学先端生命医科学センター）

Computational fluid dynamics を専門とする二人の先生から，CFD の基礎と臨床に関する最新のトピックスを御講演いただきます。

●スポンサードシンポジウム(富士フィルム富山化学株式会社共催)(11月30日)

毎年開催される「東北脳循環カンファレンス」をスポンサードシンポジウムとして併催します。同シンポジウムのみにご参加の方の学会参加費は免除されます。

「SPECT と ASL による脳血管障害の脳血流動態解析」と「脳循環測定的基础と臨床」というテーマの二本立てで行います。

研究を志す若手の先生方に少しでもインパクトのある企画になるよう準備いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。